

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ未来共創プラットフォーム事業			担当部局庁	国際統括官付	作成責任者			
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付	国際戦略企画官 白井俊			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第4条)			関係する 計画、通知等	「ユネスコ活動の活性化について(建議)」(令和元年9月12日日本ユネスコ国内委員会建議) 「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム」(平成28年:持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議制定)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	持続可能な開発目標(SDGs)の実現が、国際社会のみならず各地域の活性化の中でも喫緊の課題として共有される中で、我が国のユネスコ活動は、新たな局面を迎えている。「ユネスコ活動の活性化について」の建議を受け、ユネスコ活動に関心や実績を持つステークホルダーに加え、SDGsの実現に向けた取組等を進める多様なステークホルダーの知見を得て、国内活動と国際協力における成果の往還に資するよう、国内のユネスコ活動拠点ネットワークの戦略的整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局により、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーと連携し、ユネスコ活動の更なる充実や、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進するためのプラットフォームの構築・運営、(2)ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活性化を図るため、ユネスコスクール拠点の運営、(3)日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務等、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク拠点の運営、(4)日本国内のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営及び国内ネットワークの推進。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	112	92	88	93		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	112	92	88	93		
	執行額		0	97	87	-	-		
	執行率(%)		-	87%	95%	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	87%	95%	-	-		
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	国際協力推進事業委託費		83	88	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				
	庁費		4	5	※ユース世代の活動促進及び発信力強化に係る経費を増額。				
	職員旅費		0.7	0.7					
	委員等旅費		0.5	0.5					
	諸謝金		0.1	0.1					
計		88	93						
活動内容 (アクティビティ)	「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事務局として、ユネスコ活動に取り組んでいる団体等と連携し、SDGsの実現に向けて積極的に取り組む多様なステークホルダーの参画を促しながら、特にユース世代を巻き込んだユネスコ活動の更なる充実や、活動成果の国内外への戦略的発信、先進的なユネスコ活動の海外展開、ポータルサイトの設置・運営等を行う。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	多様なステークホルダーとの連携によるユネスコ活動成果の戦略的発信	プラットフォーム事務局が設置するポータルサイトの年間更新数	活動実績	回	-	-	200		
			当初見込み	回	-	-	200	200	200
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	予算執行額/事業実施数			単位当たり コスト	百万円	-	27.5	21.9	22.1
				計算式	予算執行額/事業実施数	-	110/4	87.4/4	88.3/4

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度							
								4年度	6年度							
年間アクセス数を最終的に35,000に向上させる。	プラットフォーム事務局が設置するポータルサイトの年間アクセス数	成果実績	PV	-	-	27,394										
		目標値	PV	-	1,000	30,000	30,000	32,000								
		達成度	%	-	-	91										
根拠として用いた統計・データ名(出典)	ユネスコ未来共創プラットフォーム事業ポータルサイトアクセス数															
活動内容(アクティビティ)	ユネスコスクール事務局として、「持続可能な社会の創り手」育成の拠点となるユネスコスクールの活性化を図るため、加盟申請支援及び審査の実施、定期レビューの実施、活動支援、全国大会や地域大会の開催、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUnivNet)の支援等を行う。															
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度							
								活動見込み	活動見込み							
国内のユネスコ活動拠点のネットワーク強化	ユネスコスクール全国大会の参加者数(オンライン視聴含む)	活動実績	回	-	2,905	2,731										
		当初見込み	回	-	2,500	2,600	2,700	2,800								
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込み								
	予算執行額/事業実施数			単位当たりコスト	百万円	-	27.5	21.9	22.1							
				計算式	予算執行額/事業実施数	-	110/4	87.4/4	88.3/4							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度							
								4年度	6年度							
								97%を維持する。	ユネスコスクール全国大会参加者へのアンケートにおいて大会全体の評価として「とてもよかった」「よかった」と回答した割合	成果実績	%	-	97	99		
								目標値	%	-	95	95	97	97		
達成度	%	-	102	104												
根拠として用いた統計・データ名(出典)	各事業を通じたアンケート調査															
活動内容(アクティビティ)	日本ジオパーク委員会の事務局として、ユネスコへの推薦に係る業務、再認定審査に係る業務、選考基準策定、ユネスコとの連絡調整等を行うとともに、我が国におけるユネスコ世界ジオパーク活動を推進し情報発信を強化する。															
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度							
								活動見込み	活動見込み							
ユネスコ世界ジオパーク活動の推進	専門的助言を行ったユネスコ世界ジオパーク登録地域の割合	活動実績	%	-	100	100										
		当初見込み	%	-	80	100	100	100								
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込み								
	予算執行額/事業実施数			単位当たりコスト	百万円	-	27.5	21.9	22.1							
				計算式	予算執行額/事業実施数	-	110/4	87.4/4	88.3/4							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度							
								4年度	6年度							
								再認定審査への専門的助言を行うことにより、登録地域数を維持する。	ユネスコ世界ジオ登録地域数	成果実績	%	-	9	9		
								目標値	%	-	9	9	9	9		
達成度	%	-	100	100												
根拠として用いた統計・データ名(出典)	ユネスコ世界ジオ登録地域数															
活動内容(アクティビティ)	我が国のユネスコエコパークについて、国際的な動向を踏まえた管理運営を推進することを目的とした実務者に向けた能力開発を実施する。															
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度							
								活動見込み	活動見込み							
エコパークにおける実務者の管理運営能力の強化	ワークショップに参加したユネスコエコパーク登録地域の割合	活動実績	%	-	100	100										
		当初見込み	%	-	80	100	100	100								
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込み								
	予算執行額/事業実施数			単位当たりコスト	百万円	-	27.5	21.9	22.1							
				計算式	予算執行額/事業実施数	-	110/4	87.4/4	88.3/4							

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度		
							4年度	6年度	6年度	6年度	
定期報告への専門的助言を行うことにより、登録件数を維持する。		日本のユネスコエコパークの登録件数	成果実績	%	-	10	10				
			目標値	%	-	10	10	10	10		
			達成度	%	-	100	100				
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	日本のユネスコエコパークの登録件数										
政策 評価 書 URL 該当箇所	政策 評価 書 URL 該当箇所	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進									
		政策	13-2 国際協力の推進								
		政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_13-2.pdf								
			該当箇所								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	ユネスコ活動はSDGsの実現及びその基盤となるESDの推進に資するものであり、ユネスコ活動を戦略的に推進する本事業は地域活性化、多文化共生等の課題解決にもつながる、国民や社会のニーズが高い事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国内外の多様なステークホルダーを結集し、国内のネットワーク拠点の戦略性整備と先進的なユネスコ活動の海外展開を一体的に推進する体制を構築する本事業は、国が主体的に実施すべきものである。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	SDGsの実現は全関係者を構成員とする「SDGs推進本部」が設置される等我が国の重要な政策目的であり、その達成に資する本事業は政策体系の中で優先度が高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は2年目に当たり、外部の有識者による審査委員会において、審査を行い、継続の可否を判断している。				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td> <td align="center">無</td> </tr> <tr> <td>競争性のない随意契約となったものはないか。</td> <td align="center">無</td> </tr> </table>	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	外部の有識者による審査委員会を設置して妥当性を確認している。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コストの算出基準となる根拠詳細について入念に確認し、その妥当性についてチェックをしている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	各委託先と文部科学省が直接契約を結ぶものであり、中間段階は存在しない。なお委託事業の目的を達成するための必要性、専門性に応じて再委託を行う事は想定している。				
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	外部の有識者による審査委員会を設置して妥当性を確認している他、委託契約締結時に事業経費の費目、使途を厳正に検査している。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	過去に実施した事業の実績を踏まえ、委託契約締結時に事業経費の費目、使途の内容を厳正に検査している。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	「成果指標」とおり、見込みに見合った実績となっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	ユネスコ未来共創プラットフォーム、ユネスコスクールネットワーク等ユネスコ活動を振興するという本事業の目的を達成するには、専門的知見を有する団体からの企画提案に基づき実施する、本事業の取る手段が最適である。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	「活動指標」とおり、見込みに合った活動実績となっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	当該事業で得られた成果物(ポータルサイト、報告書等)については、教育関係機関を始め、広く一般にも共有し、活用してもらえるような工夫を行っている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-				
	事業番号			事業名			
点検・改善結果	点検結果	外部審査委員会の設置により妥当性を確保するとともに、事業経費の費目・使途を厳正に検査した結果、効率的な事業計画となった。					
	改善の方向性	本事業は今年度が3年目に当たり、今後も事業の効率性や有効性について、事業経費の合理性・必要性を厳正に審査し、成果目標を達成するため継続的な見直し・改善を行っていく。					
外部有識者の所見							
外部有識者による点検対象外							

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

この事業は、外部有識者の点検、事業所管部局による自己点検及び行政事業レビューワーキングチームによる点検の結果を踏まえ、特段の見直しは要しないものと考えられる。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

本事業については、令和2年度に企画競争を前提とする公募を実施するとともに、本事業の実施期間は、国の財政事情等により、必ずしも保証するものではないが、最長5会計年度(令和2年度～令和6年度)を予定している。毎年度、委託事業の実施状況等について評価又は確認を行い、委託の継続の可否を判断した上で、契約の締結は年度毎に行うこととして事業を開始した。本事業の継続可否判断に際しては、実施要領及び審査基準に基づき、事業審査委員会において、審査を行うことにより、公平性、透明性を確保していく。

備考

○日本ユネスコ国内委員会Facebookページ <https://ja-jp.facebook.com/jpnatcom/>

○ユネスコ活動に関する法律 <http://www.mext.go.jp/unesco/009/002.htm>

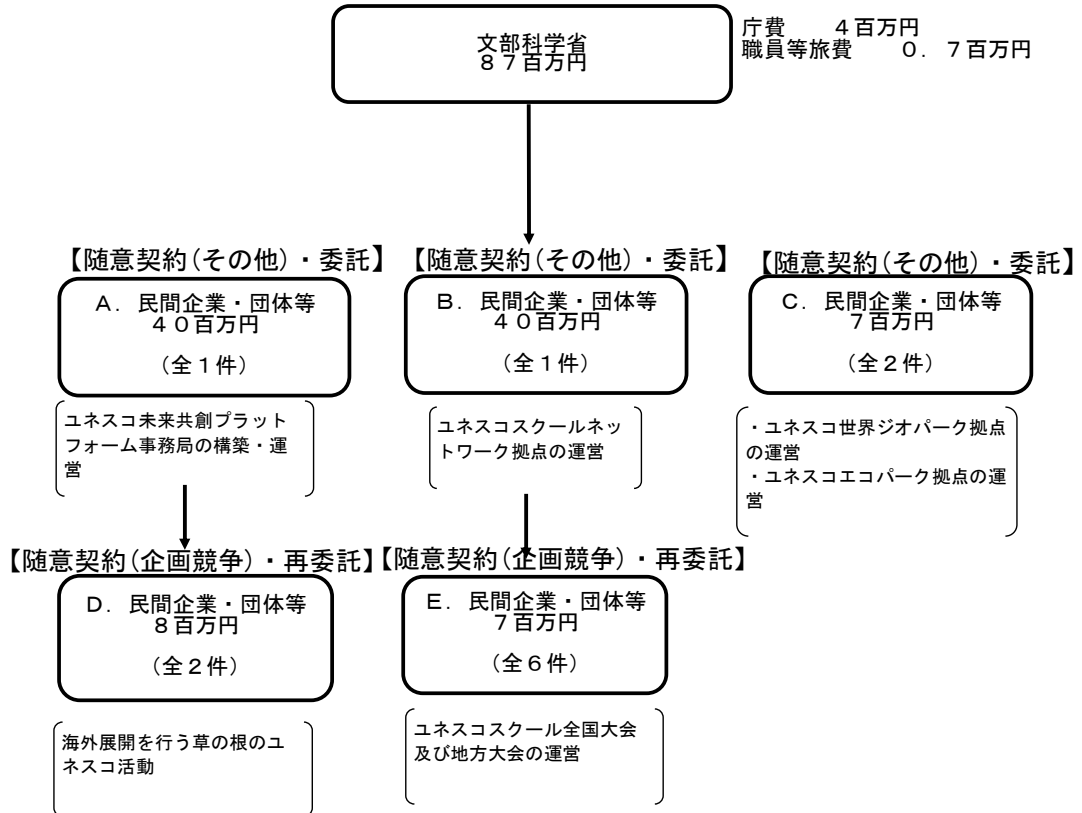
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	23	29		
平成24年度	18	21		
平成25年度	441	444		
平成26年度	340	440		
平成27年度	432	435		
平成28年度	415	418		
平成29年度	423	426		
平成30年度	427			
令和元年度	文部科学省 - 新32 - 0024			
令和2年度	文部科学省 新02 0031			
令和3年度	2021 文科 20 0446			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A. 一般社団法人SDGsプラットフォーム			B. 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	賃金	18	人件費	賃金	22
	事業費	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額	11	再委託費	再委託費	9
	再委託費	再委託費	8	事業費	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額	6
	一般管理費	一般管理費	3	一般管理費	一般管理費	3
計		40	計		40	
	C. 特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク			D. 独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	賃金	3	事業費	諸謝金、借損料、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額	4	
事業費	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、会議費、雑役務費、消費税相当額	2				
一般管理費	一般管理費	0.5				
計		5.5	計		4	
	E. NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
事業費	諸謝金、旅費、借損料、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額	5				
人件費	賃金	0.9				
一般管理費	一般管理費	0.3				
計		6.2	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人SDGsプラットフォーム	8010005030117	ユネスコ未来共創プラットフォーム運営業務	40	随意契約 (その他)	1	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	1011105005122	ユネスコスクールに関する審査、事業推進、ネットワーク構築	40	随意契約 (その他)	1	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク	4010005017324	ユネスコ世界ジオパークに関する審査・事業推進	6	随意契約 (その他)	1	100%	-
2	公益財団法人日本自然保護協会	7010005016562	ユネスコエコパークに関する管理運営に関する実務者ワークショップ開催	2	随意契約 (その他)	1	100%	-

